

## ▶ 秋のバス巡検は11月7日 ◀ 伊能忠敬ゆかりの佐原(香取市)探訪

平成27年第2回巡検最終案内 (締切11月4日午前)

日 時:平成27年11月7日(土)、8時15分、新宿工学院大前広場発

見学地:香取市(旧佐原市)市街他など

ご案内:鈴木純子氏

参加費:6,000円(入館料・資料・保険等含む)

ルート:新宿・工学院前(8:15)～酒々井PA～伊能忠

敬記念館…伊能忠敬生家…昼食…佐原伝統的建造物群保存地区…山車会館～観福寺～香取神宮～幕張PA～新宿(18:45位)(…は徒歩、～は観光バス)

伊能図で有名な伊能忠敬ゆかりの佐原を探訪します。ご案内は伊能研究などで有名な鈴木純子先生です。雨天決行。交通事情などによりルートや見学の順番・時間が変更になる場合があります。

高速バスや域内交通利用よりもお得な内容です。

★詳細は当財団ホームページ(HP)をご覧ください。

## 巡検・セミナー開催のご案内

平成27年度セミナーは平成28年2月20日(土曜日)開催予定です。詳細は平成28年2月1日発行の「ICICニュース76号」(次号)か当財団HPをご覧ください。

今回のセミナーでは、埼玉県立文書館で開催予定の

地図展「地図のひみつ ひみつの地図」(平成28年1月9日～2月28日開催)もあわせて見学します。

開催地:埼玉県立文書館(さいたま市浦和区)

講師等:現在調整中です。決定しましたら当財団HPに掲載予定です。

## 展覧会情報

地図に刻んだ戦災。地図に描いた希望。

期間 7月21日～12月25日

会場 ゼンリン地図の資料館(北九州市小倉北区)

電話 093-592-9082

絵図っておもしろいー国絵図と村絵図ー

期間 10月3日～11月29日

会場 吹田市立博物館(吹田市)

電話 06-6338-5500

G空間EXPO 2015

期間 11月26日～28日

会場 日本科学未来館(東京都江東区)

## mini地図NEWS

### 「ニウエ」を国家として承認

平成27年5月15日、日本は南太平洋の「ニウエ(Niue)」を国家として承認。同8月5日、両国間の外交関係が成立した。

同国は外務省HPによると、面積259平方キロメートルで、徳之島とほぼ同じ。人口は約1,500人(2013年)で、首都はアロフィ。1774年にキャプテン・クックがニウエを確認。1900年にニウエ王の要請により英国の保護領となり、1901年にニュージーランドの属領となる。1974年ニウエ憲法の下、内政自治権を獲得、ニュージーランドとの自由連合に移行。(外務省)



ニウエ国旗(1975年制定)

### 「地図記号占い」で今月はハッピー?

一般財団法人日本地図センターは平成27年4月から「地図記号占い」という謎のコンテンツを開始した。

これは同センターHP(<http://www.jmc.or.jp>)の「地図空中写真を遊ぶ」から入る。

画面に表示された12個の地図記号から1つ選ぶとその月の運勢が表示される(意外と真面目な運勢です)。日本地図センターなので、吉方位(凶方位)や、幸運の地名(山名)なんかを追加したら楽しいだらう。(Exite Bit)

【ほぼ今月の地図記号占い】 10/8～11/03

これであなたの今の運勢がわかるかもしれない・・・

下記の12個の地図記号から好きな地図記号を一つだけクリック


## 地図絡み

### 第63回 ハワイ島 ヒロ付近 2万4千分 25万分地形図

帝京大学理事 井口悦男

アメリカのハワイ州ハワイ島を含む島々の地形図は、その本土の例から見ると、例えば周辺アラスカの場合と同じく、図に使われていた古い様式が残され、一般図と相違する部分が継続された。その上に、合衆国図特有の図式のため、それなりに微細な描写を施していたにも拘らず、色彩の面描方式の同一色域の平面的広がりか災いしてか、一見単純かつ省略図法による図と見られがちであった。そのように見られる傾向は、アメリカという地域の広さと歴史の浅さ、どうしてもヨーロッパと比較され

る所にも重ねられたこともあったろう。さらに加えれば、集落地形成時期にも存在したと言えよう。同様にヨーロッパあるいはアジア等と比較されるが、石垣に苔むした、自然的上下あるいはカーブする地域から程遠い、人工的直線交差、また数学的円弧の中にとたずむ、同一形式の家々で語られる。

こうした自然化景観に反する人工的、統一的空間は、図描として一定範囲で、ひとつに限られることなく、重複表現されていることが認められる。例えば、住宅地のピンク色の帯と平行して、森林地域の薄緑色の帯が描かれることで、2つの地域区分が強調されること確かである。

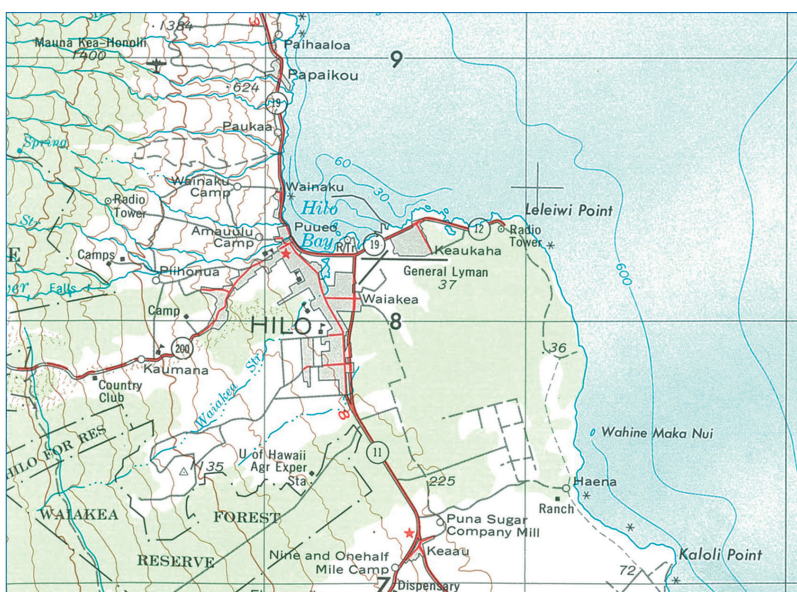
さらに述べれば、両者の帯の間に無着色の空間が挟まれて、家々の黒角点が道路上に連続する状況が、住宅密集地の個々表示省略方式に対応して表現される。密集地と漸減周辺地の表現差である。このため図化は簡便化されたが、結果を読み取るほうでは、残念なことには、家々の並びは不明となり、状況不明地域すなわち縮尺の大きさに対応しない図とみなされる災いをとまうことになった。

一方、道路描写では至って詳細なところが合衆国図に認められる。5段階に区分された道路標示は、自動車社会に適合した地形図である。2本線に赤を挟んだ、道路番号表示を取る。しかしその2本線描写は、例えば日本の一般的市販図が採用する国道、県道などの幅広さと言うか大きさからすると、アメリカ図のハワイ図例で、10万分1のばあい、遠目でその縮尺を調べず、図描だけでは一見、1万分1~2万5千分1各図描に近いのである。

広大かつ平坦な地形を表現する合衆国図が伝統的ヨーロッパ図描と相違し、省略図法を採用していること当然となろうが、すべてその方式で成立しているはずがない。

例えば、貨物輸送を中心とする大動脈の鉄道は、単線が多く、ごく細で表現され見落としがちになるのも、ヨーロッパの例示とは異なる。輸送力への観点の相違である。相違と言え、10万分1図の最小道路標示の「TRAIL」(小径)には「JEEP TRAIL」(ジープ道)の断り書き部分もあり、さすがに細かいと、アメリカらしさを感じる。5段階に+αとなろうか。

(15.10.08)



(上) HILO, HAWAII 1981 1:24,000 (部分、約86%に縮小)

(下) HAWAII HAWAII ISLAND 1975 1:250,000 (部分、約88%に縮小)

いずれも「United States Geological Survey」による。